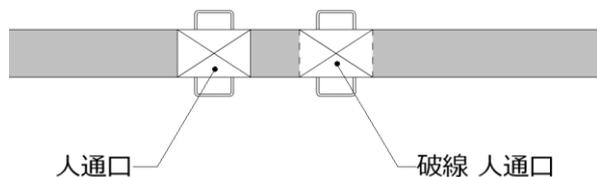


■ 概要

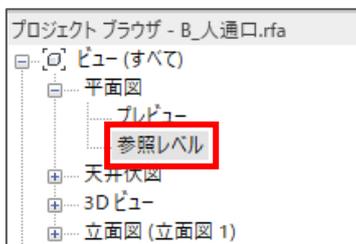
BooT.oneの人通口ファミリ「B_人通口.rfa」につきましては、ファミリの仕様として開口部の直径に合わせて造作工事カテゴリのサブカテゴリ「床_開口_2D_躯体」という実線と、マスキング領域が表示される設定になっております。
 平面図ビューでは人通口のマスキング領域は「ビュー範囲」設定のメイン範囲内に含まれると、必ず表示されます。



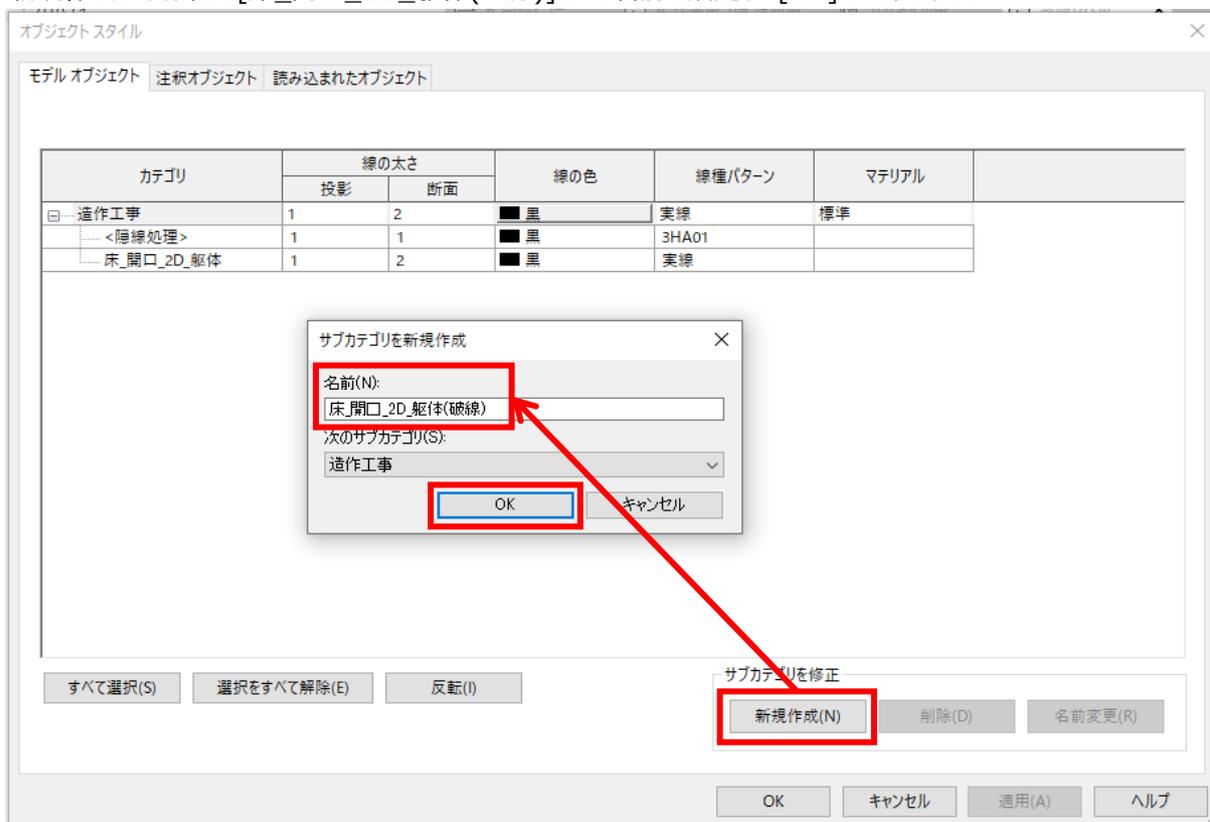
■ 人通口の開口部を破線表現に変更する方法

① 人通口ファミリを選択し、[修正]タブ → [モード]パネル → [ファミリを編集]をクリックし、ファミリの編集画面を開きます。

② [B_人通口.rfa]ファミリ編集画面のプロジェクトブラウザ → [ビュー] → [平面図] → 参照レベルのビューを開きます。



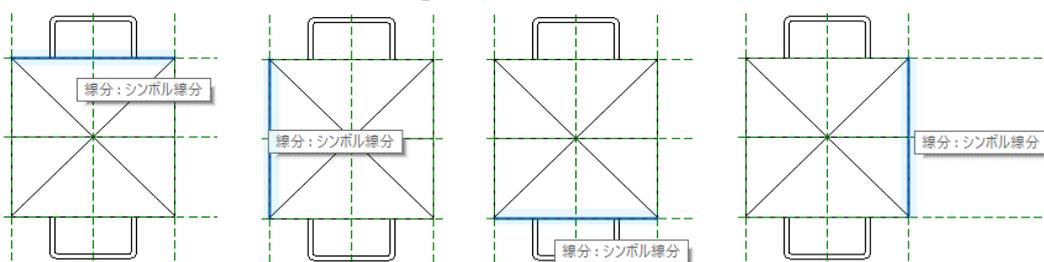
③ [管理]タブ → [設定]パネル → [オブジェクトスタイル]をクリックし、破線の線種を増やします。
 オブジェクトスタイル ダイアログの[サブカテゴリを修正] → [新規作成] → サブカテゴリを新規作成ダイアログにて、新規作成する線種名を登録します。
 新規作成する線種は「床_開口_2D_躯体(破線)」という名前に設定し、[OK]をクリックします



作成した線の線種パターンは3HA01、断面の線の太さを2に設定し、[OK]をクリックします。

カテゴリ	線の太さ		線の色	線種パターン	マテリアル
	投影	断面			
造作工事	1	2	黒	実線	標準
<隠線処理>	1	1	黒	3HA01	
床_開口_2D_躯体	1	2	黒	実線	
床_開口_2D_躯体(破線)	1	2	黒	3HA01	

- ④ すでに配置されている開口部分の実線4本を削除します。
 ※線にマウスオーバーし、「シンボル線分」を選択していることを確認し、削除します



- ⑤ マスキング領域を選択し、[修正]タブ → [モード]パネル → [境界の編集]をクリックします。
 開口部分の梁を横切る線2本を選択し、サブカテゴリを 床_開口_2D_躯体(破線)[投影方法] に変更します。



[修正]タブ → [モード]パネル → [編集モードを終了]をクリックします。

- ⑥ [修正]タブ → [ファミリーエディタ]パネル → [プロジェクトにロード]をクリックし、読み込みたいプロジェクトを選択します。
 ⑦ 読込先のプロジェクトにてファミリーの上書き設定ダイアログが表示されるので、[既存のバージョンを上書きする]をクリックします。
 ⑧ 開口部分の表現が破線になったことが確認できたら終了です。